



教育学部同窓会報

2021

No. 27

同窓会活動に思うこと



同窓会長 矢嶋 英敏

昭和51年度 英語英文学科 卒業

世界の果ての通学路

平成26年8月、「世界の果ての通学路」という映画のことを知り、上映している映画館を探しました。見つけたのは東京葛飾の映画館。どうしても見たくて出かけました。その映画に登場する子どもたちに問われた言葉は「あなたは何故命がけで学校に通うのですか？」でした。

ケニアに住むジャクソン君は、片道15キロの道を2時間かけて、野生動物に襲われる危険がある中、サバンナを走り抜けます。アルゼンチンのカルロス君は、誰もいないパタゴニアの山の中を片道18キロ、馬に乗って通います。3千m級の山が連なるアトラス山脈の中の貧しい村に生まれたモロッコのザヒラさんは、片道22キロの山道を4時間かけて通います。インドのサミュエル君は、弟たちに押してもらって車椅子に乗って片道4キロを1時間15分かけて通います。彼らの家族は「今日も無事に学校に着けますように」と祈りながら、朝、見送ります。

「なぜ命がけで学校に通うのか？」と問われた彼らは、皆こう答えました。「夢を叶えたいから」と。

翌年3月、勤務校での卒業式でこの時の映画のことを引用して卒業生たちに語りかけました。「あなたにとっての夢は何ですか？」と。

夢が若者だけの特権ということはないと思います。年を取っても夢はあります。同窓会に集う方々が、幾つになっても夢を持ち続け、活躍されることを改めて願っています。

本年6月、後藤信義氏の後を受け継ぎ会長職を拝命いたしました。微力ではありますが精一杯務めさせていただきます。会員の皆様にはご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

人間は一生のうちに・・・

「人間は一生のうちに逢うべき人には必ず逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に」は、教育学者・哲学者である森信三氏の言葉です。教職にあった時も、退職してからこの同窓会活動に関わらせていただく中においても、その思いを強くしています。同窓会という組織は、大学を卒業し離ればなれになってしまった仲間と繋がる数少ない場だと思います。この広報誌を手にしてくださった皆さんには、是非ともじっくりと目を通していただき、学生時代のことを思い返しつつ、今の取組や母校の様子についてご理解いただければと願っています。

新型コロナ禍の中で委員の皆さんは・・・

新型コロナウイルスの感染拡大は、この原稿を書いている今も収まる気配がありません(同窓会報が発行される時点での終息を願ってはいますが)。2年前までは当たり前のように開催できた「理事会・評議員会」や「各委員会の活動」「役員会」等も対面での開催が制限され、書面開催であったり感染防止策を講じた上で必要最小限の打ち合わせで効率的に済ませたりなど、多くの制約がある中で工夫を凝らしながら事業が進められています。

■総務部では

新型コロナウイルス対応の最前線に立ち、会議の準備・資料の作成・会則の見直し作業等を進めていただいています。対面での会議開催が書面開催に替わることで通常以上の手間をお掛けしています。

■組織部では

主に会員管理を担当していただいています。毎年度、この会報誌に同封されている「住所不明者一覧」を目にされ、時には懐かしい名前を見つけられることがあると思います。そうした時には、可能であればご本人から事務局に連絡いただけるよう声かけをお願いします。今の時代、ご本人以外からの連絡では名簿の変更をすることはできませんのでご協力をお願いいたします。

■事業部では

同窓会が主催する「教育実践研究助成事業」は、岐阜県教育委員会、市町村教育委員会のご協力も賜りながら推進される、全国的にも例を見ない取組です。教職員の研修機会の一つとして県議会でも紹介されたことがあります。

■広報部では

本広報誌の作成のために、関係部署との調整や原稿依頼等に当たっていただきました。内容等についても見直しを図り、新たに「教職サポート室」からの頁を加えるなど、教員養成を目的とする学部としての取組や大学の現状等を紹介しています。

■私たち役員は

昨年度から始めた「教職を目指す学生支援のための個人面接指導」に本年度も協力しました。

最後に

新型コロナウイルス問題は、現役の学生にも大きな影響を与えています。大学からも様々な形で支援のお願いが届いていると思いますが、学生が直面している現状をご理解いただきご支援賜りますよう、同窓会を代表してお願い申し上げます。

教育学部・教育学研究科の 充実・発展のために



教育学部長 別府 哲

コロナ禍で新しい生活様式を求められることが続いております。皆様方におかれましても、さまざまな困難をかかえながらの一年であったかと思えます。その中で、同窓会の皆様には、日頃より大変たくさんの点でお世話になっていること、この場を借りて改めて御礼申し上げます。ここでは教育学部・教育学研究科でこの間取り組んできたことを中心に、現状と課題についてご報告させていただきます。

岐阜県を中心とした地域に、質の高い教員を数多く輩出し、教員研修に資する学部・研究科をめざして

教育学部・教育学研究科の最大のミッションは、岐阜県を中心とした地域の、特に小・中学校・特別支援学校で働く質の高い教員を数多く輩出し、教員になられた後も質の高い研修を行うことにあります。国立大学が法人化となり、このミッションを実行することは教育学部にとってますます重要となっています。この点に関して同窓会の皆様が、各現場などで日々ご努力いただいていること、重ねてお礼申し上げます。

(1) 教員志望の高い学生の入学(入試改革)

上記のため、令和元年度から「ぎふ清流入試」を実施しています。これは、岐阜県の教員になる強い意志と能力を、集団面接と個別面接、学修計画書で確認・評価する入試です。併せて、令和3年度からは、教員志望者が例年少ない後期入試を廃止し、前期入試では全員に面接を課して教員志望を確認することとしました(令和3年度入試ではコロナ禍のため未実施)。学生のアンケートではここ数年、教員志望者の割合が高くなるという結果がでております。数年後の教員採用試験受験者数の増加にしっかりつなげるよう、今後も努力していきます。

(2) 学部の教育内容の改善：教育実習をはじめとしたACTプラスの改善・実施

令和2年度から、教育実習を岐阜県内で学生の出身地を中心に行う、ふるさと実習としました。そのため県内21市町村と大学で連携協定を結び、60校近くに実習校をお願いしております。併せて、1年から4年までの継続した実習(1年は附属での観察型実習―「教職トライアル」、2年は実習校で1週間実施する参加型実習―「教職リサーチ」、3年は従来の教育実習―「教職プラクティス」、4年では「教職インターン」;これをACTプラスと呼んでいます)は継続するとともに、学生が基本的

には2年と3年に同じ地元の実習校に行けるようお願いをしております。学生からは、「地元の学校で実習ができてとても嬉しかった」「2年と3年で同じ学校で、安心して実習ができた」といった意見を多くもらっています。教育実習は、学生が「教員になりたい」と思うようになる、一番大きな動機づけの場です。大学での講義・演習と共に、実習が学生にとって有意義なものになるよう、これからも改善を行っていきます。

(3) 進路指導の充実―教職サポート室の立ち上げ

岐阜大学教育学部出身で県内の校長経験のある、退職された先生方4名にお願いしている学生支援を、今年度から一つに統合し教職サポート室を立ち上げました。これは、1～3年の教育実習に関する指導と3年後期から4年までの進路指導を、4名で分担して、各講座の学生の入学から卒業まで、4年間を見通して相談・支援を行っていただくものです。(2)でふれた1～4年生までの継続した実習の事前・事後指導、教員採用試験を目指した3年後期からの少人数グループに分かれての学習会の開催(今年度は1月～8月までで延べ700回近く開催)など、個々人に寄り添ったきめ細かな取り組みを行っていただいています。特にこの数年は、教育学部学生の約2/3が女性であることを踏まえ、岐阜県内で働く女性教員に来ていただき、女性としての教員のやりがいや働き方の保証についての講話を教育実習後3年生全員に対して行っていただきました。この取り組みは、一定数の学生が進路志望を他から教師に変更するきっかけとなっています。大学教員も含め、学生の状況、願いを丁寧に汲み取った実習、進路相談を今後も強めていきます。

(4) 教職大学院の拡充―高度な専門性をもつ教師養成

大学院では令和4年度より、現在の修士課程にある教科領域を教職大学院の「教科指導能力開発コース」(次ページの表の「改組後(令和4年度)」の緑の部分)として新設する改組が認められました。このコースでは、教職大学院で必修となる実習10単位と修了時に提出する開発実践報告などを通して、例えば教科の一つの単元の指導案を(教科内容の研究と連動して)新たに研究・作成し、実践により検証することを行います。これによって、教科指導においても高い専門性を持った教員を養成できることとなります。あわせて教育臨床心理学専攻も新設し、地元根付いたスクールカウンセラー養成も行うこととします。

従来から全国的に評価の高かった教職大学院の学校管理職養成コースはそのまま継続・発展させ、教育実践開発コースはカリキュラム開発などのスタッフ・内容を今まで以上に充実させるものとなっています。

(5) 附属小中学校－義務教育学校9年一貫カリキュラム作成

以前お伝えしましたように、附属は令和2年度より、9年一貫の義務教育学校(名称は「附属小中学校」)となりました。岐阜県内でも義務教育学校化の動きはいくつか出ていますが、一番課題となるのがそのカリキュラム作りです。県内のモデルとなるカリキュラムを作るため、9年を4・3・2制(1～4年・5～7年・8～9年)とし、「どう生きる科」という新領域を含めた9年一貫カリキュラムを研究・開発中です。あわせて教育学部内には義務教育学校支援委員会を作り、各教科を中心に大学の教員と附属の先生方で共同して上記のことに取り組める体制を作りました。今後はその成果を学部・大学院の教育に還元し、教員養成・研修にも生かしていきたいと考えております。

(6) 東海国立大学機構としての名古屋大学との協力

令和2年4月に名古屋大学と岐阜大学は東海国立大学機構となりました(一法人二大学)。これを機に、岐

阜大学教育学部と名古屋大学教育発達科学研究科の教育・研究資源を活用し、教員養成・研修をさらに充実するチャンスが生まれました。その最初の一つとして、令和3年度から、岐阜大学教育学部教員2名、名古屋大学教育発達科学研究科教員3名が講師をつとめる岐阜県教育委員会の研修講座が実現しました(研修講座名「新しい社会におけるひとりひとりの学びの創造」全5回)。今後も両大学が一法人になったメリットを生かし、教員養成・研修の深化を図っていききたいと考えています。

来年度より国立大学法人は新たに第4期中期目標期間(令和4年～9年の6年間)に入ります。教育学部・研究科にとってのステークホルダーは、第一に卒業された皆様であり、同窓会です。地域の学校、教育委員会も含め、ステークホルダーである皆様のご意見を丁寧にお聞きし、しっかりと連携しながら最初にかいたミッションを追求することが今まで以上に求められます。岐阜県の教育をよりよいものとするため、岐阜大学教育学部も教職員一丸となって取り組んでいく所存です。今後ともどうかご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

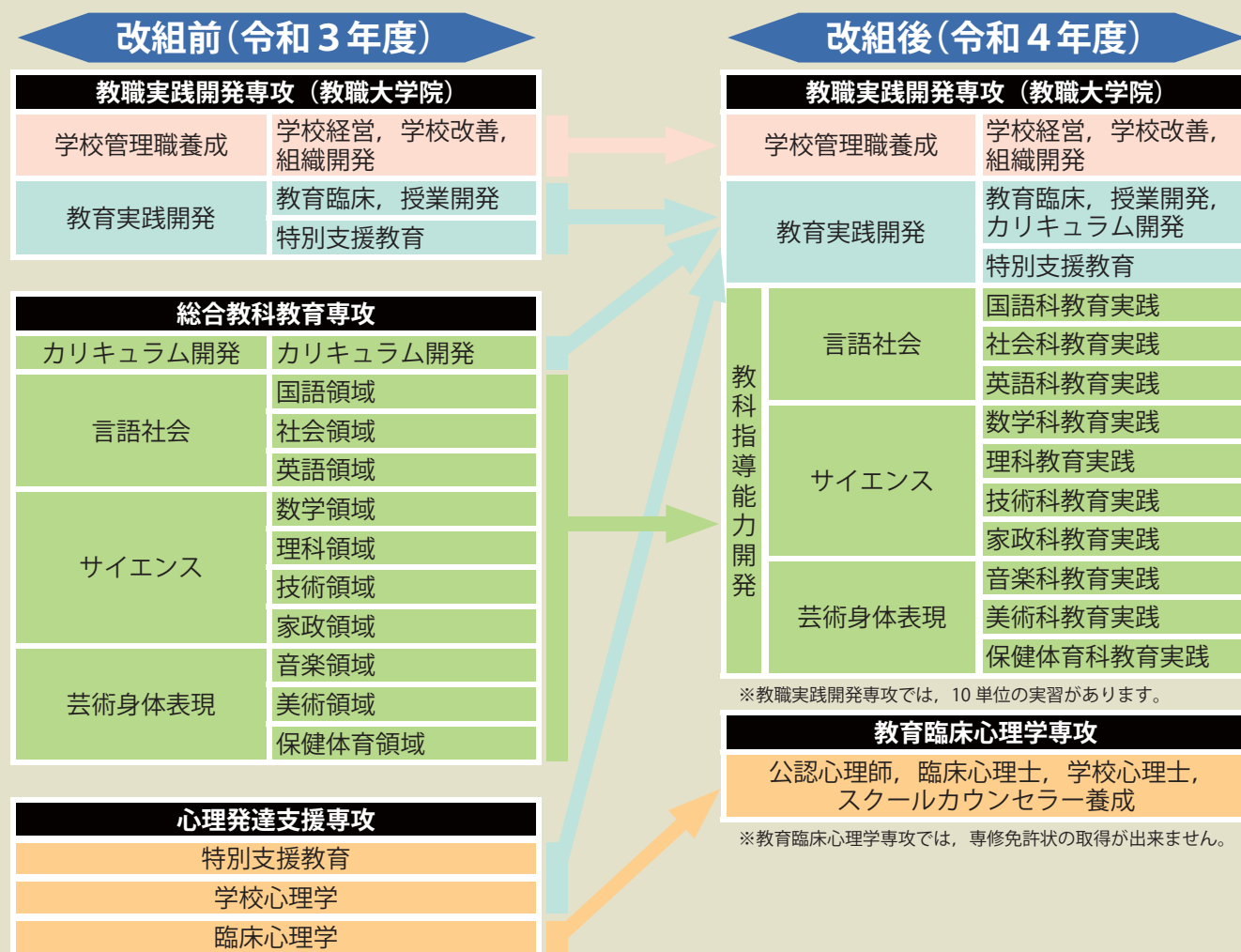


図. 令和4年度からの大学院改組

教職サポート室の取組

～一人でも多くの学生を教員に～

【教育指導員】

教育実習係：高橋忠明・深尾雅人
教員採用係：高橋和子・末松豊生

教育実習係

教育実習等に係る学生への指導及び教育実習協力校・関係市町教育委員会との連携・調整

【教育実習のサポート】～教職を志す意欲と実践力の向上～



教育実習協力校(全県44校)と関係教育委員会の協力を得て、4年間の教育実習を計画的に進めています。特に力を入れていることは、事前指導や事後指導及び実習中のサポートです。今年度も昨年度に続き、コロナ禍の中、期間の短縮等はあったものの、各学校の理解と協力のもと実施をすることができました。学生は「コロナ禍において受け入れていただけること」への感謝を胸に、細心の配慮をしながら実習に臨み、安全かつ充実した実習となりました。

【3年生学生の声】

「2年生の時と同じ学校で受け入れていただいた。たった一年なのに子どもたちがすごく成長しているのに感動した。授業をするのは大変だったが、担任の先生や校長先生からご指導いただき、自分の課題もみえた。何よりも子どもたちの頑張りがうれしかった。」

【学校研究等の実施】～義務教育の具体を学ぶ～

学生が学校現場での教育について具体的に学ぶ必要があると考え、1年生の教職トライアルとセットで「学校研究」と銘打ち、学校の組織や学校での様々な指導等について学ぶ機会を設けました。今年度は次の5項目を実施しました。

①学校組織 ②学級経営 ③授業構造 ④環境 ⑤義務教育



ACT 実施委員会

教職サポート室

教職サポート委員会

教育実習係

教員採用係

- 実習等事前指導、事後指導および教育相談
- 実習中の学生サポート
 - ・教職トライアル(1年)・・・小学校3回、中学校2回
 - ・教職リサーチ(2年)・・・小学校5日、中学校5日
 - ・教職プラクティス(3年)・・・小学校4週間、中学校4週間
 - ・教職インターン(4年)・・・12日以内、60時間以上
- ※日数等は年度当初の計画(コロナのため今年度変更あり)
- 教育実習協力校・関係教育委員会等との連携・調整
- 教育実習連絡協議会、ACT 実施委員会等のサポート
- 採用後追跡調査及びフィードバック 等

将来を担う
教員の養成

- 教育相談、進路相談
- 「教員採用の手引」等の作成
- 学習会(教員採用試験対策)
 - ・学習指導要領等解説、教職基礎、教職教養等
 - ・面接指導(個人・集団)、プレゼン面接、場面指導等
 - ・論文、論述対策
 - ・実技指導、模擬授業等
- 教員採用及び講師採用手続きサポート
- 講師希望者サポート及び講師依頼対応
- 教員内定者指導及びサポート 等

教育採用係

教員を志す学生への進路相談及び教員採用選考試験のための「学習会」の実施と指導・助言

【進路相談の充実】～教員を志す学生のサポート～

一人でも多くの学生が、これからの将来を担う子どもたちを育てていくことへのやりがいと使命感を感じ、教員をめざしてくれることを願っています。そのために、教職にかかわる不安や悩みなどを気軽に相談できる環境と体制を整えるとともに、積極的に進路相談活動を行っています。また、内定者や講師希望者に対して、説明会や個別対応を行い、4月から自覚と覚悟をもって教員としての第一歩を踏み出せるようにサポートしています。

【学習会の充実】～教員採用試験合格に向けての指導とサポート～

教員採用試験対策としての勉強会である「学習会」に力を入れています。試験内容は、県・市によって違いはありますが、筆記試験に加え、論文・論述問題、面接(集団・個人・プレゼン・場面)や実技試験、模擬授業等が課せられています。そこで、12月に3年生を対象に実施する「教員採用ガイダンス」を皮切りに、教員採用試験に向けての「学習会」を開始します。「学習会」は、6人編成のグループを基本に進めています。内容は、「教職に向かう姿勢」「面接の心得」「学級づくり」「授業づくり」「体罰根絶」「いじめ問題」など教職にかかわる様々なことに加え、論文、集団(個人)模擬面接、模擬授業等の指導・助言を行い、どの県・市の採用試験にも対応できるようにしています。

なお、個人模擬面接では、昨年度に続き、岐阜大学教育学部同窓会の皆様に、面接官としてご指導・ご助言をいただきました。今後とも、同窓会の皆様のご理解とご協力のもと、「学習会」のより一層の充実を図っていきます。



〈個人模擬面接の様子〉

令和3年度 岐阜大学教育学部同窓会役員

役 員			
会長	矢嶋 英敏	S51 英語	
副会長	高橋 忠明	S48 技術	
	清水 優子	S50 家政	
	原 尚	S53 体育	
	村瀬康一郎	S53 数学	
総務部会	◎ 村瀬康一郎	S53 数学	
	○ 菱川 洋介	H16 数学	
	高橋 和子	S49 美術	
	森 社	S51 化学	
組織部会	◎ 和合 保	S54 数学	
	○ 興戸 律子	S54 数学	
	河合 鋭夫	S52 技術	
	◎ 末松 豊生	S54 教育	
事業部会	○ 大塚 弘士	S54 史学	
	森 透	S55 地学	
	松井 徹	S56 数学	
	北村 直子	S55 国語	
	深尾 雅人	S57 英語	
	河井 洋子	S57 家政	
	服部 公彦	S57 化学	
	◎ 鈴木 祥隆	H22 特支	
広報部会	○ 今井 亜湖	H 8 技術	
	古田 信宏	S54 教育	
	宮川 誠	S56 美術	
	長村 覚	S57 国語	
	今井 正代	S57 数学	
	鷲野 善仁	S53 体育	
監査	長島 清司	S54 数学	
	市原 輝明	S51 哲学	

◎部会長 ○副部会長

評 議 員			
国文	遠山 健二	S62	
	吉永 康昭	H5	
	富山 哲成	H8	
	大前 剛士	H16	
	丹下 侑輝	H19	
史学	高木 敏彦	S48	
	武藤 貞昭	S49	
	川部 誠	S52	
	養島 一美	S54	
	國枝 孝治	S58	
地理	小牧 壽	S45	
	小林 直樹	S50	
	豊島 博	S58	
	堀江 秀樹	S58	
	新井 恒雄	H6	
法経	村井 俊之	S56	
	横田 稔	S57	
	丸山 靖生	H3	
	日比野 崇	H16	
	古川 徹	H19	
哲学	近藤 新八	S43	
	柘植 卓伸	S52	
	國定 幸敏	S53	
	柳井 奈津子	H 元	
	奥村 直也	H5	
数学	瀧 政昭	S48	
	中川 敏之	S50	
	日置 貢	S53	
	熊崎 盛敏	S55	
	名取 康夫	S57	
物理	奥田 好紀	S56	
	若曾根 隆	S58	
	堀部 昇	S61	
	市原 隆行	H2	
	竹腰 宣行	H3	
化学	興戸 浩道	S54	
	服部 公彦	S57	
	白木 和雄	S59	
	酒井 茂	S61	
	田辺 美樹	S61	
生物	安藤 志郎	S43	
	井上 好章	S53	
	可児 美紀	H7	
	渡辺 寛樹	H9	
	細江 達三	H18	
地学	森 透	S55	
	浅野 和哉	S56	
	古田 靖志	S58	
	武藤 正典	H11	
	澤村 秀彦	H14	
音楽	棚橋 弘	S48	
	丸山 真姫	S59	
	杉本 公彦	S61	
	中村 美雪	S63	
	西脇ひろみ	H 3	
美術	國枝 俊介	S44	
	竹市 安彦	S49	
	水谷 啓	S55	
	鬼頭 立城	S60	
	清水 也人	H 7	
体育	野原 正美	S55	
	清水 康孝	S59	
	中村 俊彦	S61	
	見山 政克	S62	
	高橋 茂洋	H 6	
技職	伏屋 敬介	S45	
	高橋 忠明	S48	
	清水 茂樹	S58	
	吉田 竹虎	S62	
	淀川 雅夫	H7	
家政	清水 優子	S50	
	河井 洋子	S57	
	山下 絵美	H15	
	小林 明奈	H16	
	坂 真紀	H17	
英語	深尾 雅人	S57	
	高橋 清仁	S58	
	服部 照	S58	
	山下 敦子	S60	
	酒井 猛	S63	
教育	安田 和夫	S53	
	柳川 禎章	S53	
	神谷 弘子	S53	
	松井みどり	S54	
	江崎 麻美	S61	
師範男子	宮脇 修	S24	
	安藤 俊夫	S25	
青年師範	石田 幸彦	S24	
	今井 昌喜	S25	
	服部 真六	S26	

理 事		
国文	曾我部領史	H8
史学	武藤 貞昭	S49
地理	小牧 壽	S45
法経	清水 泰浩	H2
哲学	谷本 龍馬	S50
数学	中村 昌秀	S49
物理	鈴木 雅史	S50
化学	桐村 良昭	S53
生物	金子 伴和	S52
地学	岩田 将之	S48
音楽	棚橋 弘	S48
美術	竹市 安彦	S49
体育	武藤 哲夫	S38
技職	伏屋 敬介	S45
家政	杉山 恵子	S48
英語	高橋 清仁	S58
教育	古田 信宏	S54
師範	宮脇 修	S24
男子	安藤 俊夫	S25
青年	石田 幸彦	S24
師範	服部 真六	S26

(令和3年6月24日現在)

令和3年度 岐阜大学教育学部同窓会理事会・評議会報告

本年度の理事会・評議会も昨年同様、新型コロナウイルス感染防止の観点から、郵送による書面審議とし、令和3年6月30日までに書面審議書を返信していただきました。評議員・理事・役員数は131名であり、書面決議書の回答者数は90名でした。よって審議は成立となりました。

各議案についての集計を行いましたので、その結果についてご報告申し上げます。

第1号議案 令和2年度事業報告及び決算の承認

第1号議案の令和2年度事業報告及び決算が承認されました。(承認: 90/131, 非承認: 0/131)

第2号議案 会則の一部改正について 令和2年度事業計画案及び予算案の承認

第2号議案の会則の一部改正が承認されました。(承認: 90/131, 非承認: 0/131)

第3号議案 次期同窓会長選出について

第3号議案の次期同窓会長選出について、推挙委員より推挙された矢嶋英敏氏が次期会長として決定されました。(評議員の承認: 57/90, 非承認: 0/90)

第4号議案 令和3年度新役員の決定と報告

第4号議案の令和3年度新役員について、評議員により副会長・監査、理事により幹事が承認されました。副会長・監査(評議員の承認: 57/90, 非承認: 0/90)、幹事(理事の承認: 14/19, 非承認: 0/19)

第5号議案 令和3年度事業計画案及び予算案の承認

第5号議案の令和3年度事業計画案及び予算案が承認されました。(承認: 88/131, 非承認: 0/131)

令和2年度 教育学部同窓会活動報告

月	総務部会 等	組織部会	事業部会	広報部会
4	7 入学式 ● 監査(書面)	● 役員変更状況確認	● 第35集印刷開始 ● 教育研修課との打合せ ● 臨時部会；数回	
5			● 第35集発刊 ● 第35集に係る教育研修課への依頼 20 第35集配布作業	
6	13 運営委員会 ● 理事会・評議会(書面)		● 教育事務所長会, 県小中校長 会役員会に協力依頼 ● 県教委へ後援申請	● 第1回部会(書面) (担当分担, 細部打合せ)
7		● 会費未納者再請求 ● 1年生IDパスワード配布	● 県教職員互助会へ助成金申請	● 担当者より会報の原稿の作成依頼
8	● 拡大運営委員会中止			
9				● 印刷業者の選定
10			● 教育事務所訪問 ● 総合教育センター長訪問	● レイアウト, 挿絵, 配置など ● 第2回部会編集会議(書面)
11			● 審査依頼；都市教育長会長, 町村教育長会長, 県小中校長 会長, 同小校長会長, 同中校長 会長	● 会報の原稿の校正(初校) ● 会報の原稿の校正(2校)
12		● 会費未納者再請求		● 同窓会報第26号発行・発送
1	● 拡大運営委員会中止			
2			● 論文概要入手, 予備審査, 最終審査資料作成	
3	25 卒業・修了生に記念品贈呈		2 第二次審査会 10 最終審査会 ● 第36集発刊手続き開始	

令和2年度教育学部同窓会決算報告

●一般会計

＜収入の部＞	科目	決算金額
	前年度繰越金	1,751,965
	同窓会費	7,020,000
	雑収入	32
	合計	8,771,997
＜支出の部＞	科目	決算金額
	運営費	1,688,371
	庶務費	1,396,000
	事務管理費	201,306
	役員会費	47,417
	通信費	26,590
	渉外・交通費	17,058
	組織活動費	1,082,425
	名簿管理費	944,815
	名簿作成助成費	0
	同窓会入会式費	137,610
	学部援助費	519,000
	事務援助費	459,000
	教育文化助成費	60,000
	事業活動費	713,908
	成果刊行費	504,900
	会議費	192,160
	事務費	16,848
	広報活動費	2,441,663
	印刷費	1,149,299
	通信費	1,292,364
	次年度繰越金	2,326,630
	合計	8,771,997

●事業活動基金

＜収入の部＞	科目	決算金額
	前年度繰越金	38,750,065
	利息	3,188
	合計	38,753,253
＜支出の部＞	科目	決算金額
	貸金庫料	8,800
	次年度繰越金	38,744,453
	合計	38,753,253

●教育実践事業基金

＜収入の部＞	科目	決算金額
	前年度繰越金	2,622,012
	利息	8
	寄付金	200,000
	合計	2,822,020
＜支出の部＞	科目	決算金額
	教育実践論文顕彰費	412,000
	次年度繰越金	2,410,020
	合計	2,822,020

令和3年6月30日評議会(書面審議)で承認済み。

令和2年度(第36回) 教育実践研究助成事業の報告

事業部会長 末松 豊生

昭和54年度 学校教育 卒業

1 はじめに

令和2年度は、コロナ禍で極めて厳しい状況の中での募集となった。学校の一斉臨時休業は3月にとどまらず、4月の新学期以降も継続的に行われることになった。学校現場では、新しいクラスの子ともと出会う時間もないまま新学期がスタートし、授業再開後も行事が中止されたり、部活動に制限があったりするなど、学校生活は大きく変わった。様々な困難な状況の中でも、強い問題意識や思いをもって教育実践に取り組まれていることに敬意を表したい。

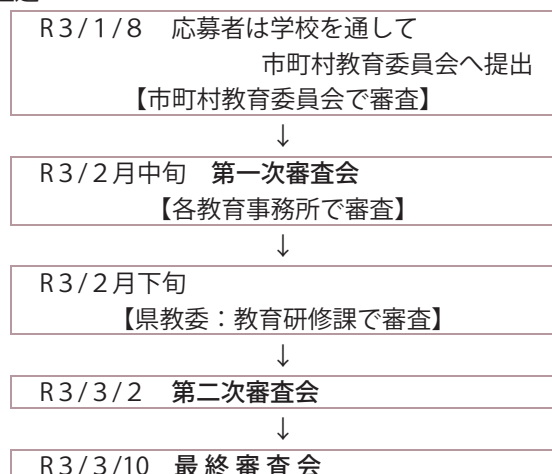
2 応募状況と傾向

応募総数：628人(前年度966人)

- ・応募総数は、昨年度より3割減となった。働き方改革が叫ばれ、しかも新型コロナウイルス感染症への対応に日々追われる中での実践であることを考慮すると、想定以上の応募であった。本事業の意義が学校現場等にも理解されていると考える。
- ・20代・30代の募集が全体の8割余りを占めていることから、若手教員の指導力向上への意識の高さを感じる。また、今日的課題である若手教員の育成に積極的な学校現場の様子がうかがえる。
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえた実践が進められている。また、ICT活用にかかわる実践も増えている。

3 審査会の報告

(1)経過



(2)審査の観点

- ①教育の今日的な課題を踏まえ、解決の方向が明確になっているか。
- ②願う子どもの姿、指導意図、指導方法等は明確になっているか。
- ③児童生徒の成長や変容の姿がよく現れているか。
- ④研究及び実践内容に創造性・妥当性が見られ、説得力のある文であるか。

(3)令和2年度「最優秀賞」

瑞浪市立瑞浪中学校 教諭 水野 寛大

言葉による見方・考え方を働かせ、伝えたい思いや
願いを表現する「書くこと」の指導
～「瑞浪のまちづくり」を題材としたカリキュラム・マネジメントの活用～

- ＊他教科等との関連を図った学習内容や言語活動の工夫により、生徒の書く力を高める秀逸な実践である。
- ＊標準学力検査(CTR)及び意識アンケートをもとに生徒の実態を捉えた上で、指導方法を工夫することで、生徒の変容が明確に表れている。
- ＊「ふるさと教育」の視点を踏まえた題材の設定や、カリキュラム・マネジメントの実践例としても大いに参考となる実践である。

4 今後に向けて(最終審査会から)

- ・論文では、主張を端的に表現することを心がけたい。その際、ゴシック文字、囲み線や色の多様等による強調は、読み手にかえって混乱を生じるさせることがあるので注意したい。
- ・研究内容については、選考の観点として創造性や説得力があげられている。説得力を高めていくためには、研究内容をさらに焦点化していくことが重要である。
- ・取り組んだ教育実践が自身の取り組みにとどまらず、校内体制や校内組織の強化にどのように関わったのか等、汎用性に関わる提言にも触れると一層よい。





岐阜県小中学校 教育実践研究論文受賞者一覧

最優秀賞（1編）			
瑞浪市立瑞浪中	水野 寛大	言葉による見方・考え方を働かせ、伝えたい思いや願いを表現する「書くこと」の指導 ～「瑞浪のまちづくり」を題材としたカリキュラム・マネジメントの活用～	<国語>

優秀賞（9編）			
岐阜市立長良東小	服部 将也	未知の自然事象についての問題も、科学的に解決できる子が育つ理科学習	<理科>
瑞穂市立本田小	大澤 誉貴	仲間と共に課題解決の仕方を工夫し、記録と課題に向き合いながら主体的に取り組む児童の育成	<体育>
笠松町立笠松小	大屋 かおり	自己を見つめ、自らよりよい生き方を求め、実践する子を育む道德教育の在り方 ～「考え、議論する道德」授業の具現を通して～	<道德>
垂井町立府中小	草野 剛	働き方改革を進めながら、若手教師の生徒指導力を高める〇ＪＴの取組	<生徒指導>
安八町組合立東安中	浅野 孝介	社会参画の基礎を育てる社会科学習の在り方 ～人物の生き様に焦点を当てた授業を通して～	<社会>
関市立田原小	竹智 丈裕	ひたむきに動き、自己肯定感と人間関係形成能力を高め合う児童の育成	<特別活動>
御嵩町立伏見小	岩本 航	既存の学習活動をいかしたプログラミング教育の在り方 ～ビジュアル型プログラミング言語「Scratch」を用いた教材開発を通して～	<情報教育>
土岐市立駄知小	中島 健志	「事象を科学的に探究することは楽しい」と感じる子 ～理科の見方や考え方を意図的・意識的に活用しながら深い学びを実現していくための指導・援助の工夫～	<理科>
下呂市立上原小	下出 明日香	自分ごととして捉え、社会への関わり方を考える社会科学習 ～自ら追い求め、思考力を高める児童の育成～	<社会>

優良賞（40編）※主題・副題は省略して紹介します。								
岐阜市立長良東小	佐伯 康輔	道德	大垣市立興文中	松村 祐汰	理科	御嵩町立伏見小	名倉 さおり	社会
岐阜市立岐阜中央中	寺澤 浩平	その他	大垣市立赤坂中	清水 諒子	健康安全	多治見市立精華小	山田 恭平	国語
岐阜市立梅林中	勝野 陽介・境田 淳一	社会	海津市立東江小	古賀 聖	体育	多治見市立滝呂小	江崎 紀子	学級経営
岐阜市立陽南中	西田 薫	国語	海津市立日新中	水谷 和気・渡辺 雅己	理科	瑞浪市立瑞浪小	足立 佳美	その他
岐阜市立東長良中	渡辺 脩哉ラファエル	総合	養老町立広幡小	杉野 久美	学級経営	恵那市立恵那西中	久野 智治	管理経営
羽島市立小熊小	西 薫	学級経営	養老町立東部中	長堀 真人	社会	恵那市立恵那西中	小栗 ゆかり	保健体育
羽島市立竹鼻小	河合 貴志	社会	関ヶ原町立関ヶ原小	吉田 誠	その他	恵那市立明智中	原田 将伍	保健体育
各務原市立那加第一小	平野 稜也	道德	関市立緑ヶ丘中	早川 真理奈	英語	中津川市立福岡小	鈴村 友浩	外国語
各務原市立鵜沼第二小	平岡 一輝	算数	関市立桜ヶ丘中	太田 貴也	国語	高山市立清見小	石垣 誠二	算数
各務原市立蘇原中	山本 美紗	理科	郡上市立八幡小	杉本 小春	道德	飛騨市立河合小	柿下 冬子	体育
山県市立高富中	村瀬 和香奈	健康安全	郡上市立明宝小	中澤 志帆	国語	下呂市立金山中	中川 拓郎	生徒指導
本巣市立本巣小	石垣 仁	道德	美濃加茂市立太田小	日下部 智也	理科	白川村立白川郷学園	鈴木 大介	その他
北方町立北方西小	浜野 美奈	体育	可児市立西可児中	高木 恵子	英語			
大垣市立多良小	古田 潔香	英語	白川町立黒川小	劔持 秀徳	道德			

新人賞（24編）※主題・副題は省略して紹介します。								
岐阜市立長良小	松村 純伽	英語	大垣市立墨俣小	辻 ひろこ	その他	可児市立旭小	河合 香穂里	道德
羽島市立竹鼻小	服部 大地	体育	大垣市立北中	増野 麻里子	理科	御嵩町立上之郷中	野村 麻衣	その他
各務原市立川島小	大塚 淳平・古屋 慎太郎・後藤 亜美	体育	海津市立高須小	佐伯 真琴	特別活動	多治見市立笠原中	木下 綾野	外国語
山県市立伊自良中	可知 健寛	理科	垂井町立不破中	岡本 英通	数学	瑞浪市立瑞浪南中	西野 美紀	その他
瑞穂市立巣南中	堀 公輔	社会	輪之内町立福東小	増谷 迪香	算数・国語	恵那市立恵那西中	今井 慶太	音楽
本巣市立真桑小	山口 順也	国語	関市立旭ヶ丘中	福井 真理子	美術	中津川市立付知中	鵜飼 諭	理科
岐南町立東小	仙田 翼	算数	美濃市立藍見小	佐藤 有花	算数	飛騨市立古川西小	渡邊 まき	健康安全
大垣市立墨俣小	水口 陽子	その他	可児市立帷子小	三井 沙梨亜	特別支援	下呂市立下呂小	古川 彩子	体育

第36回教育実践研究論文の優良賞・新人賞の主題・副題は、同窓会ホームページよりご覧いただけます。



新人先生奮闘記

山県市立美山中学校教諭 村瀬ひかり

平成 30 年度 技術教育講座 卒業



勤務で楽しかったことはなんですか？

一番楽しいと感じるのは、生徒との学級活動です。特に、私が思いつかないようなことを生徒が思いつき、その案を実現させるための方法を全員で一生懸命考えている時間がとても楽しいです。昨年度は、生徒が主体となって卒業生へのメッセージ動画づくりを行いました。新型コロナウイルスの関係で、例年のような形の集会ができないという状況下でも、「なんとか先輩に感謝を伝えたい」という思いから、生徒が考案した劇を撮影し、全校で動画を視聴しました。台本から出演、編集まで仲間と協力し合い、よりよい作品をつくろうと奮闘する姿がとても印象に残っています。私も担任として生徒と活動をともし、ユーモアあふれる意見を実現するために取り組むことができ、楽しかったです。

趣味で取り組んでいることはありますか？

時間をみつけて読書をするようにしています。最近では、「ロボット・イン・ザ・ガーデン」という本を読みました。この本は、人間とアンドロイドがともに生きている世界が舞台となった物語です。私はこの本を読むまで、「人工知能が増えたら人間の仕事が減少してしまうのではないか」という不安な気持ちがありました。しかし、この本を読んで、不安がるのではなく人間と人工知能がともに活躍できる世界をつくるのが大切なのだと感じました。専門の授業のなかで、人工知能についてもふれる場面もあるので、今後の指導に生かしていきたいと思います。

夏休み等の長期休暇はどのようなことをしていますか？

夏休みは、2学期以降の学級経営や授業の見通しをもつことを心がけています。学級経営では、1学期に成長した姿をより高めるためにはどのような取組を行ったらよいか、1学期の課題を克服するためにはどのような声をかけたらよいかを考え、2学期の見通しをもつようにしています。もちろん、新学期に向けて、自分のコンディションを整えるためにしっかりと休ん

でリフレッシュすることも大切だと思っています。

大学生活を振り返ったとき、現在の勤務に大いに役立っていることはどんなことですか？

専門教科について、非常にたくさんのことを学ぶことができたということです。機械工学や電気電子工学等の専門知識を詳しく教えていただき、身に付けることができたおかげで生徒の前で自信を持って授業を行うことができています。また、岐阜大学農場で実際さまざまな体験をさせて頂き、授業のなかで実体験をもとに話すことができています。家畜を実際には見たこともないという生徒も多く、その授業を受けるということは、生徒にとってとても難しいことだと思います。ICTを活用して動画や写真を見せることはできますが、教師が実際に経験した話をすると、生徒はより一層興味をもって授業を受けようと頑張ってくれます。大学時代に、教室での講義や体験学習などさまざまなことを学ばせていただけたことに感謝しています。





美濃市立美濃小学校校長

家田 陽介

昭和 59 年度 美術工芸学科 卒業

今のお仕事についてお聞かせください。

美濃市立美濃小学校の校長をしています。私にとっては母校です。校長室には、坪内節太郎の「松風」、加藤東一の「夜明け」など、岐阜県を代表する作家の名画があります。

岐阜大学で学んだことが役にたっていると感じることはどんなことですか？

教育や美術について、私の考え方や発想の基盤となっていることに間違いありません。特に絵画制作においては、師事した先生から、「家田は一度抽象をやるとよい。」と言われ、それから、20年以上その道にのめり込んでいました。随分長い一度になりました。今は具象の作品を中心に制作していますが、先生が言われたことの理解は少しずつ深まってきたのではないかと思います。こうして具体的な例を挙げ出すときりが無いのですが、大の苦手で、無事にやり過ごすことしか考えていなかった英語の講義でも、「The pointlessness of art is not the pointlessness of a game ; it is the pointlessness of human life itself,・・・」というフレーズは心に残っています。芸術について考える時には必ず甦ってきます。このように様々な場面、様々な学びが絡み合い基盤となっていると感じています。

岐阜大学卒業後に新たに学んだことや、学び直したことはありますか？

やはり、教育という仕事は学校現場で身に付けることが多いですし、時代はどんどん変化していきます。新たに学んだり、工夫したりしていかなければならないことばかりです。

私が大学生の頃は、まさに校内暴力が吹き荒れていました。卒業した中学校からは、「〇〇先生の授業がボイコットされた」などの情報が入ってきました。あの優しい先生が何故？といった疑問や、自分はやっていけるのかと不安でした。それでも、採用試験を受け、中学校に赴任することになりました。全校30クラスのマンモス校、職員会や普通の学校生活にも緊張感がありました。物音一つしないような全校集会、真剣な話し合い、全身全霊で合唱する生徒たちの姿は、衝撃的でした。先輩の先生からは「せつかく立ち直ったこの学校をお前は壊す気か。」と怒鳴られたこともあります。「形にこだわるな」「みんなが納得できるまでとことん話し合え」「弱い子を守り、頑張る子が認められる学級でなければ崩壊するぞ」「質の高さを求めなければ意欲は減退する」「教師が変われば生徒も変わる」など、多くのことを私に伝えてくださいました。校内暴力を克服してきた先輩の先生方の熱意、気迫に圧倒される日々でした。これらは、大学ではなく、現場で学んだことだ

と言えます。

それから37年、今、児童生徒について考える時、発達障がいや不登校への理解、DVなどの家庭環境がもたらす影響等、十分な知識が必要です。個の特性に応じた指導が求められる中、今までの経験だけでは通用しないことを自覚し、学び直していかなければなりません。大学との連携を強化し、私たちは何をすべきか、見出ししていきたいと思っています。

後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

是非、教師になってください。多様性が求められる今、様々なキャリアをもつ者が教壇に立つことは有益です。だからこそ、皆さんのように、教育を体系的に学んできた教師も欠かせないのです。今も、教育を取り巻く課題は山積です。苦しいこともあります。でも、やりがいのある仕事であることに間違いありません。日本の未来を担ってください。そして、自分の専門分野にはこだわり続けてください。



2021年個展「クロスする 時の記憶」より



株式会社ロングラン

上海子会社管理担当

王 学穎 (Wang Xueying)

平成22年度 教育学研究科カリキュラム開発専攻修了

教育学研究科ではどのような研究を行いましたか？

中国人留学生を対象とした日本の学校教育用語学習教材の開発に取り組みました。この教材では、日本の教員養成系大学院に進学しようとする中国人留学生が大学院の必修科目の学習活動において必要となる専門用語、すなわち「特定目的のための日本語 (JSP)」である日本の学校教育に関する用語を習得することを目的としました。日本の学校教育を経験していない留学生が理解しづらい学校教育に関する用語の概念や使い方を理解できるようにするために、日本の学校教育の現状や文化などを理解しながら、小・中・高等学校の教育現場でよく用いられる用語を習得できるようにゴールベースシナリオ理論に基づくシナリオ教材としました。

今のお仕事について教えてください。

2011年に岐阜大学を修了した後、岐阜市内の貿易関係の民間企業に就職し、現在に至ります。入社後まもなく上海子会社の設立準備を任せられました。2013年に上海子会社を立ち上げてから、子会社管理一筋に進んできました。現在、長期出張の形で上海に滞在しています。

岐阜大学で学んだことが役に立ったと感じる時はありますか？

在学中、文章を書くことに苦労しましたが、修了後、文章の書き方を学んだ

ことが仕事で大いに役に立ったと感じています。文章とは「文才」によってできたものではなく、日々の努力で培った知識と心得の論理的な表現だと私は理解しています。論文やレポートを何度も書き直すうちに、自分の思考力、学習力、反省力と忍耐力が鍛えられ、少しずつ文章を書けるようになりました。「文章の得失天に由らず」という魯迅の言葉のとおり、文章が上手に書けるかは生まれつきの才能ではなく、努力の賜物です。

入社後、職場でいろんな仕事を経験し、いろんな人と付き合いしました。煩雑な業務や人間関係に悩んだ時もありましたが、在学中に文章を工夫する日々を思い出し、素直に問題と向き合うよう思考を整理できました。そして、仕事において人間関係において起こったミスや失敗は自分の成長における試行錯誤と考え、常に反省と改善に集中することでさまざまな問題を乗り越えました。したがって、文章を書く過程で培った力がずっと役に立っていると感じます。

岐阜大学修了後に新たに学んだことや、学び直したことはありますか？

つねに知識と教養を高めることが大事だと思っていますが、職場において人と協調しながら仕事を完成する力をもっとも求められていると修了後に感じました。そこで、職場では人間関係を新たに勉強しました。人間関係とは、義理と人情から成り立っていると考えます。表の規則や責任は義理で、裏に隠されている感情や絆は人情だと理解して

います。また、人間関係は主に、人情的要素に影響されます。上司や同僚、顧客は、立場が違ってそれぞれに一個人としての感情を持っています。職場でいろんな人と付き合いながら仕事していくうえで、人間関係の機微を学ばなければなりません。古典小説「紅樓夢」にある警句「世事の洞明は皆学問、人情の練達は即文章」のように、人間関係は学問や文章の勉強と同じよう、常に反省と改善を行い、生涯にわたる大事な勉強だと感じています。

後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

人の成長過程はそれぞれ異なります。大事なことは目の前の成功や失敗にとらわれず、成長し続けられるよう努力することだと思います。そして、毎日の小さな出来事より仕事および生活の意義を見つける意識を持つことによって、成長につながります。一人の外国人である私からみると、日本社会は職業に対するプロ意識が高いと感じます。そして、学校においても社会においても優れた学習の環境が整っています。在学中の皆さんは将来どの職業についても常に成長し、プロになるよう頑張ってください。



岐阜市役所

上下水道事業部

藤井 彩香

令和元年度 特別支援学校教員養成課程 卒業



今の仕事について教えてください。

令和2年4月から岐阜市職員として、市役所に勤務しております。

令和3年5月より新庁舎(岐阜大学医学部等跡地)が開庁し、これまで各庁舎に分散されていた機能が集約されました。暮らしの手続き等がワンストップ化される中で、各種事務を担当しております。

岐阜大学で学んだことが役に立ったと感じる時はありますか？

大学時代の教育実習では、子どもの心情を推測し行動する中で、相手のニーズを把握する力、また、どうすれば良かった！と思ってもらえるかを考え、言葉の選び方等を工夫しながら授業する中で、情報伝達能力を養えました。

公務員、特に市役所職員という性格上、仕事内容は非常に多岐に渡ります。日常の市民の方々への対応はもちろん、トラブルが発生した際の現場対応や災害の際の避難支援等ありますが、自分が専門としている仕事ばかりではありません。そのため、瞬時に相手が求めていることを把握し、上手く相手に物事を伝えることが重要になってきます。学生ながら実際の現場を経験したことで、現在の仕事につながっています。

また、部活動では状況に応じた対応力と協調性が磨かれました。公務員に限らず、社会人として働いている場合、組織の一員となることが多いと思います。部活動で培ったチームプレ

イは、社会人になっても共通する点が多く感じられます。様々なケースに対する適切な判断は、必ずしも一つとは限りませんし、周囲の仲間と問題を共有することでより良いサービスを提供できるかもしれません。市民の方々の生活に密接に関係する仕事だからこそ、自分一人の判断が、相手からは市の判断として捉えられることを念頭に置いて仕事をしています。

岐阜大学卒業後に新たに学んだことや学び直したことはありますか？

時間の価値を学びました。大学時代は、自分のために活用できる時間が多くあります。社会人になると時間がないとは漠然と言われてきましたが、現実のものとなり、時間の使い方を考えるようになりました。ただ漠然と予定を立てていたそれまでと異なり、平日の日中は仕事のため、就寝までの数時間が貴重なものになります。その時間を何に充てるのかで今後の自分が変わると思います。この考え方は、いかに効率よく業務を遂行するかという点で、仕事での時間の使い方にも通ずると感じています。もちろん何もせずリラックスする時間も必要ですが、普段「時間があればしよう」と思っていることを一つ行う、積み重ねることで自身の成長につながると感じています。

後輩の岐阜大学生へ贈るメッセージをお願いします。

仲間や恩師を大切にしてください。昨今のコロナ禍では、人との繋がりをもつのが難しい時代になりまし

た。そんな中で、岐阜大学で出会う同期や先輩、後輩、先生方はとても貴重な存在です。誰と出会い、どんな影響を受けたかによって、その後の人生が大きく変わることもあります。

社会人になると、気付かないところでストレスがかかり体調の変化につながることもあります。そんな時に支えられるのは信頼できる仲間です。私自身も、社会人になってから悩みを相談できる相手がいることで助けられてきました。岐阜大学にご縁をもてたこと、そこで出会った仲間をこれからも人生の財産として頑張ってください。



各学科同窓会の活動

事務局より原稿依頼を行い、原稿が届いた学科のみ掲載しています。

音楽

担当者：杉本公彦
連絡先：岐阜市立早田小学校 ☎058-231-1319

今年度も新型コロナウイルス感染症への対応に十分配慮をしつつ、以下のような活動を行ってきております。

(1) 卒業生対象に同窓会入会説明会

- ・2020年12月4日、棚橋会長と杉本理事長が、音楽棟で卒業生14名を対象に、入会説明会（内容は同窓会の組織や活動内容の説明、理事の確認、名簿の作成等）を行いました。

(2) 卒業記念コンサートを応援

- ・2021年2月14日に同窓会役員が、サラマンカホールで実施された卒業記念コンサートのリハーサルに伺いました。コロナ禍で観客の入場制限が行われる中でしたが、皆さんの思いがホールいっぱいに響き渡る、素晴らしい演奏会でした。例年同様に同窓会からお花を贈呈させていただきました。

(3) 同窓会総会について

- ・次回の同窓会総会、先生方との懇親会は令和4年度を予定しております。今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、検討をしていきます。



数学

担当者：山路 健祐
連絡先：東濃教育事務所 教育支援課 ☎0573-26-1111

(1) 令和3年度 夏季研究会 東濃地区大会

【開催日】令和3年8月7日(土)

【会場】オンライン会議 CiscoWebexMeeting

【研究会】発表者 51期生 恵那市立上矢作中学校 岩島 慶尚 教諭
60期生 多治見市立多治見中学校 佐藤 翔平 教諭
63期生 中津川市立第二中学校 二村遼太郎 教諭

今年度は東濃地区大会として、東濃地区の先生に実践発表していただきました。コロナ禍もあり、研究会はWeb会議にて行いました。初の試みでしたが、研究会当日は山田雅博教授にも参加していただくことができ、約35名の会員の方と共に充実した研究会になりました。

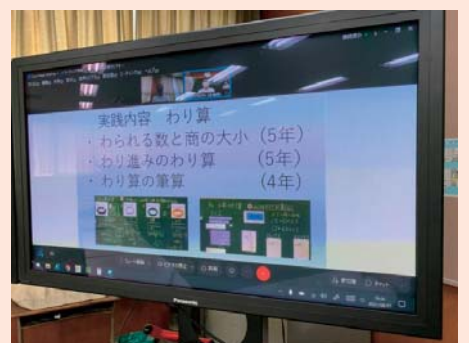


(2) 本年度の活動計画

- 数学科卒業予定者に対して、数学科同窓会「わしょう会」の組織・規約等の説明会を行います。(令和4年1月予定)
- 運営委員会を行い、来年度以降の計画を立案します。(令和4年1月予定)

(3) その他

- 令和4年度5月に「わしょう会総会」(岐阜大学)を予定しております。開催日が近づきましたら、また改めて連絡させていただきます。ぜひ多くの会員様にご参加いただきますようお願いします。



史学

担当者：山元 祐介
連絡先：山県市立美山中学校 ☎ 0581-52-1213

令和3年度の史明会総会は、新型コロナウイルスの感染状況を見通せないため中止と致しました。2年連続の中止は大変残念なことではありますが、来年度以降、再び総会を開催できることを願って今後の活動を進めてまいりたいと考えております。

現在の会長・副会長の任期は令和3年度までとなっており、新会長・副会長は8月の総会において、出席した会員の承認という形で選任される予定でした。しかし、今回は総会を開催できない中での新役員選出という異例の状況を鑑み、役員・事務局で話し合い、元会長の方々と相談して、規約にも記載されていない方法ですが、下記の手順を踏むこととしました。

1. 学年代表(事務局で把握している学年)と歴代会長に新役員選任依頼文書を送付する。
2. 学年代表と歴代会長は、同封の返信用はがきにて、承認・非承認を表明する。
3. 返信された数の過半数の承認をもって新役員の選任とする。

その結果、令和4・5年度の史明会会長並びに副会長を下記のように選任致しました。

記

会長 堀内 潤一 (昭和61年度卒)羽島郡二町教育委員会 勤務
副会長 古屋 寿彦 (平成4年度卒)美濃教育事務所 勤務

以上

なお、令和4年度の史明会総会及び講演会・懇親会は、8月20日(土)に開催致します。多くの皆様方のご参会をお待ちしております。

技術

担当者：大羽 淳也 ☎ 058-271-0320
連絡先：岐阜大学教育学部附属小中学校

新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、開催予定しておりました飛騨地区を会場とする3年に1度の総会及び懇親会は、中止とします。次回は、令和5年に岐阜地区で開催予定です。

体育

担当者：清水 康孝 ☎ 0581-34-2045
連絡先：本巣市立本巣中学校

令和3年度の体育学科同窓会総会・還暦お祝いの会・懇親会は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、中止としました。

英語

担当者：市村 一 ☎ 0584-75-2660
連絡先：大垣市立星和中学校

今年度開催を予定していましたが3年に一度実施している英語英文学科・英語教育学科同窓会(ランタン会)につきましては、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、来年度に延期します。

開催の日時等は、決まり次第、事務局より各年度の評議員を通じて連絡をさせていただきます。

なお、同窓会名簿等の修正につきましては、年間を通して受け付けておりますので、事務局までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

各学科同窓会事務局連絡先

学科	担当者	事務局連絡先		電 話
国語	小島光太郎	509-7201	恵那市大井町1073-1	恵那市立恵那東中学校 0573-25-5261
史学	山元 祐介	501-2257	山県市富永64	山県市立美山中学校 0581-52-1213
地理	坂口 亨	503-0851	大垣市禾森1-1	大垣市立安井小学校 0584-78-2762
法経	丸山 靖生	501-0515	揖斐郡大野町桜大門457-1	健康福祉部わかあゆ学園 0585-32-2240
哲学	井上 達也	503-0838	大垣市江崎町422-3	西濃教育事務所 教育支援課 0584-73-1111
数学	山路 健祐	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71	東濃教育事務所 教育支援課 0573-26-1111
物理	竹腰 宣行	509-1302	加茂郡東白川村神土647-4	東白川村立東白川中学校 0574-78-2014
化学	野田 国宏	501-6241	羽島市竹鼻町1295	羽島市立竹鼻小学校 058-392-3000
生物	三橋 直哉	500-8482	岐阜市加納大手町74	岐阜大学教育学部附属小中学校 058-271-0320
地学	安藤 亮	509-7205	恵那市長島町中野1269番地261	恵那市立恵那西中学校 0573-25-5245
音楽	杉本 公彦	502-0841	岐阜市学園町2-35	岐阜市立早田小学校 058-231-1319
美術	清水 也人	500-8384	岐阜市薮田南5-9-1	岐阜県教育委員会 教育研修課 058-271-3456
体育	清水 康孝	501-1203	本巣市文殊120	本巣市立本巣中学校 0581-34-2045
技職	大羽 淳也	500-8482	岐阜市加納大手町74	岐阜大学教育学部附属小中学校 058-271-0320
家政	高松 一恵	501-0322	瑞穂市古橋10番地1	瑞穂市立巣南中学校 058-328-2002
英語	市村 一	503-0008	大垣市楽田町6丁目60番地	大垣市立星和中学校 0584-75-2660
教育	安田 和夫			

同窓会からのお知らせ

住所変更・姓が変わった・物故の連絡・会報の送付停止・不明者の連絡は、ホームページより手続き可能です。



1 「各種手続き」より
「住所変更・物故・会報送付停止」または「住所不明者の連絡」をクリック



2 必要事項を入力後
「送信」ボタンをクリック

これまで通りIDとパスワードを入力し「会員専用システム」へログイン後、ご自分で修正も可能です。同窓生の検索もこちらから行ってください。

同窓会ホームページ
<https://gifudai-kyodoso.jp/>



着任教員のご紹介

令和3年4月1日をもって、
着任された教員は次の通りです。

菊 池 一 人	准教授	教職実践開発専攻（実務家）
---------	-----	---------------

退職教員のご紹介

令和3年3月31日をもって、
退職された教員は次の通りです。

三 島 晃 陽	准教授	教職実践開発専攻（実務家）
興 戸 律 子	助教	学習協創開発研究センター

編集後記

コロナ渦に行われた東京オリンピック・パラリンピック。テレビ越しに競技を観戦しました。車いすラグビーでは車椅子が激しくぶつかる度に声を出して驚き、車いすバスケットでは車椅子ごと転倒をしても、起き上がってプレーする姿に勇気をもらいました。その他の種目でも、選手のこれまでの努力が伝わってきました。「本気」で取り組む姿は、人を動かす力があることを改めて実感しました。

さて、今回、初めて広報部会の仕事をさせていただきました。同窓会報を作成するにあたり、多くの同窓会の先輩方とお話をする機会がありました。これまで何気なく見ていた同窓会報ですが、各ページには執筆担当者の教育学部や同窓会、そして後

輩に対する願いや思いが込められていることに気づかされました。どのページも限られた範囲の中で文字数やレイアウトを調整し、同窓会の皆様へ少しでも情報を届けようという思いが込められています。どのページも「本気」です。特に、今年度の同窓会報は、教職サポート室の取組のページを新たに設けました。ページを通して、教員を志す学生の指導やサポートをしてくださっている先生方の取組をお伝えすることができたと思います。

コロナ前のように対面での交流をすることがまだ難しい状況ですが、同窓会報を通して、岐阜大学教育学部同窓会の「今」を共有できればと思います。
(広報部会 鈴木祥隆)

同窓会報第27号の表紙

《風景》油彩

南真生（美術教育講座3年）

教育学部美術棟2階からは、青々とした森が見えます。じっと見つめていると、めまいがするほど鼓動を感じます。時間を忘れて立ち尽くしたあと、風が吹いて我にかえります。そのような一瞬の印象を、油彩で表現しました。



岐阜大学同窓会報第27号

発行日 / 令和3年12月発行

発行者 / 矢嶋 英敏

発行所 / 岐阜大学教育学部同窓会

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

TEL : 058-293-2344 (平日10時～15時)

FAX : 058-293-2343 (24時間)

E-mail : kyo_doso@gifu-u.ac.jp

岐阜大学教育学部同窓会ホームページ
<https://gifudai-kyodoso.jp/>

